

2021年4月26日

2020年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人

地域認知症サポートブリッジ

代表者・役職名 氏名 代表理事 木之下徹

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

認知症当事者による「カタリバ」と「地域多職種連携会」

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期＝法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

この法人は、広く一般市民を対象として、主に地域ケア活動にかかわる人々に対して、認知症ケアに関連する研修、コンサルテーション、地域ネットワーク作りなどの活動を行うことにより、認知症高齢者が安心して生活できる地域社会の構築を目指し、それらを通じて、広く地域における認知症周辺問題の解決とQOLの向上に資することを目的として設立されました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

認知症の人が参加するものとして「認知症カフェ」が存在しているが、実際の参加者は認知症の人が中心ではなく、認知症の人ではない健常者、家族であることが多く、必ずしも認知症当事者同士が語りあえる場があるわけではなく、状況と同じくする認知症当事者が心を許して語り合える場が必要である。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

「認知症の人が、自宅に引きこもることなく住み慣れた街に出て、生きがいを持って暮らせる」ことを目的に、認知症の人「同士」が気軽に集い、本当の自分をさらけ出し、本音で語り合える「カタリバ(語り場)」(2月に1回)を運営する。加えて、認知症の人が地域の中で様々なステークホルダー(町の民生委員、地域包括支援センター、商工会など)とともに社会的役割が果たせる企画を考えていく多職種連携の場も運営する。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

1. 結果 総参加者 120名

「カタリバ」実施日 7/20 9/7 11/2 1/18, 2/11 3/12

「地域多職種連携会」実施日 7/27, 8/31, 9/28, 10/19, 11/16, 21 1/25 2/22, 3/19
6/22, 24, 29 8/24 10/5 12/7 3/26(準備)

「失語症の理解とケア」(2/11)

コロナによる感染拡大防止のために、4月、5月、6月の実施は見送った。7月、8月は開催頻度を減らし、9月以降は予定通りの実施とした。

2 成果

「カタリバ」認知症の人・家族が社会に出ているんな方とお話をする機会を提供することができた。

「地域多職種連携会」これまで顔を合わせたことの無い専門職通しの関係性が強く太くなった。

3 社会的な変化

これまで地域で別個に社会活動を展開してきた複数の医療機関の医師及びスタッフが親しく話しをする機会を作ることができ、これにより、三鷹のみならず多摩地区広域で、地域に開かれた医療を展開していく基盤が構築できたと自負している。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナのため人と人がひざをつきあわせて話を進めていくというのが難しい局面が多々あった。これについてはオンラインミーティングの活用により解決を図ったが、今後、コロナが落ち着けば、生身の人間通しが直接語り合う機会を持っていきたい。

今後の展望であるが、

- ・地域多職種連携の会から出た様々なプロジェクトを実際に実現していくために会合をもち続ける。
 - ・助成がなくとも活動が続いていけるように NPO の認定化を進め、多くの方の善意(寄付金)を集積しやすい態勢を整えていく。
- を考えている。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

第1回

みたかのば ふらっとカフェ イベント講座
障害を持つ方がその人らしく暮らせる町づくり
～地域を互いに支えていこう～

失語症の理解とケア (医療福祉支援関係者対象)

～コミュニケーションに悩む方の生活を支えよう～

2021年

日時

2月11日

木・祝日

14:00-15:30

費用・環境

無料 ZOOM接続配信のためメールアドレスが必要です。
ネット環境のある職場や自宅よりご参加下さい。

※講座終了後、今後のイベント講座運営サービス向上を目的としたアンケート回答へのご協力を宜しくお願いいたします。

講師

田村 洋子講師

(NPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会和音理事、言語聴覚士)

※ NPO法人和音の活動をホームページでご覧になれます (<http://npowaon.jp>)



みたかのば

申込方法

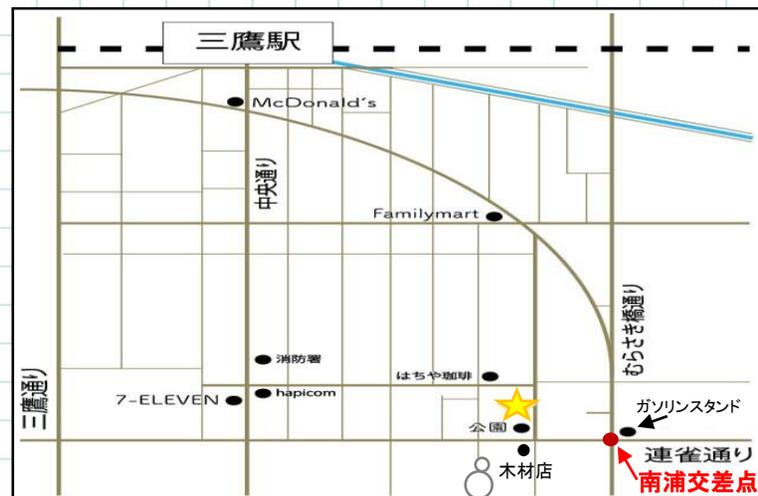
みたかのば 下記アドレスへ
①所属②氏名③電話番号を
明記したメールを送信下さい。

参加案内

確認次第、ZOOM配信接続先
URLとパスワードをメール返信
いたします。

配信場所

みたかのば -mitakanova-
三鷹市下連雀4-6-7
mitakanova@gmail.com



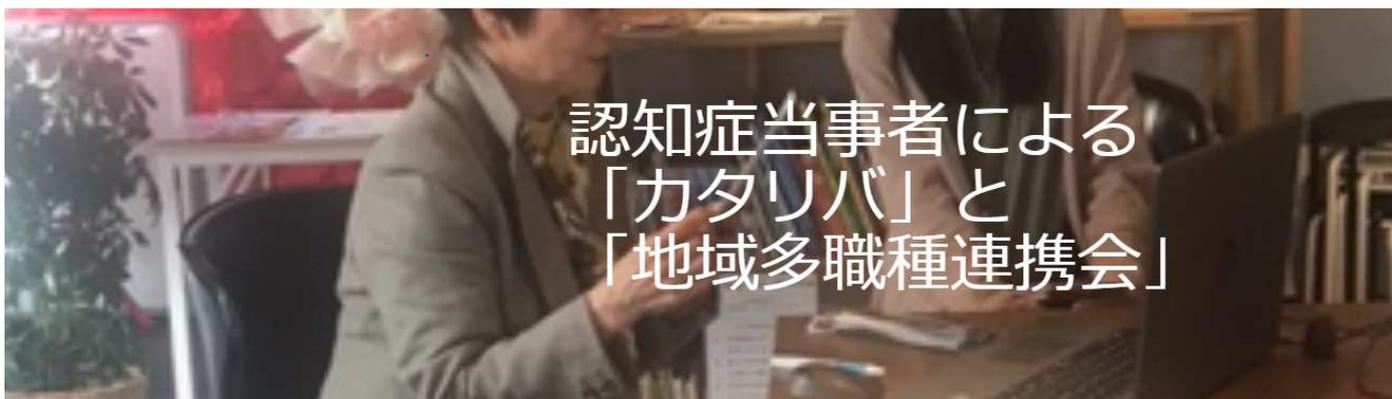
その他
お問い合わせ

ふらっとカフェ ほしや(理学療法士)
TEL 080-3158-8673

この講座は多摩地域市民活動公募助成事業です。

主催: 特定非営利活動法人 地域認知症サポートブリッジ

★が、みたかのばの場所です。
南浦交差点を一本西へ入り、
北へ約100m行くと左にある白壁のカフェ
です(自転車の駐輪は建物脇に可能)。



プロジェクトの社会的背景

政府統 eSTAT によると、多摩地区三市（三鷹市、武蔵野市、町田市）の 65 歳以上の高齢者人口は 20 万近くであり、厚生労働科学研究筑波大学朝田先生の研究結果である認知症の全国有病率推定値 15%（95%信頼区間で 12～17%）を鑑みると約 3000 人の認知症の人がこのエリアに存在すると推定されます。

本 NPO と連携をとる三鷹市西部包括支援センターからは、認知症の人のケアを行うご家族の声として「行政の様々なソースから漏れてしまった認知症の人が多数存在しており、彼らは孤立感を深めている。」とお聞きしています。

また、本 NPO の 13 年間における活動においても、「1 日中、誰とも話さず家に籠っており、社会参加の機会も少なく孤独感を感じている」という多数の認知症の人の声をお伺いしています。

認知症の人が参加するものとして「認知症カフェ」が存在していますが、実際の参加者は認知症の人が中心ではなく、認知症の人ではない健常者、家族であることが多く、必ずしも認知症当事者同士が語り合える場があるわけではなく、状況を同じくする認知症当事者が心を許して語り合える場が必要だと考えられます。

プロジェクトの具体的内容

「認知症の人が、自宅に引きこもることなく住み慣れた街に出て、生きがいを持って暮らせる」ことを目的に、認知症の人「同士」が気軽に集い、本当の自分をさらけ出し、本音で語り合える「カタリバ（語り場）」（2月に1回）を運営します。

加えて、認知症の人が地域の中でも様々なステークホルダー（町の民生委員、地域包括支援センター、商工会など）とともに、社会的役割が果たせる企画を主体的に考えていく場も運営します（月に1回）。プロジェクトの実施に当たっては、認知症の人が主体的に参加できるよう、認知症について十分な知識と経験を有したファシリテーターがサポートします。

認知症の人の孤立を無くしていくと同時に、認知症になってもいい三鷹の街づくりを目指しています。

第1回 みたかのぼ ふらっとカフェ イベント講座
障害を持つ方がその人らしく暮らせる町づくり
～地域を互いに支えていこう～

失語症の理解とケア

(医療福祉支援関係者対象)
～コミュニケーションに悩む方の生活を支えよう～

2021年

日時 2月11日 木・祝日 14:00-15:30

費用・環境 無料 ZOOM接続配信のためメールアドレスが必要です。
ネット環境のある職場や自宅よりご参加下さい。
※講座終了後、今後のイベント講座運営サービス向上を目的としたアンケート回答へのご協力を宜しくお願いいたします。

講師 田村 洋子 講師
(NPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会和音理事、言語聴覚士)
※ NPO法人和音の活動をホームページでご覧になれます(<http://npowaon.jp>)

申込方法 みたかのぼ 下記アドレスへ
①所属②氏名③電話番号を明記したメールを送信下さい。

参加案内 確認次第、ZOOM配信接続先 URL とパスワードをメール返信いたします。

配信場所 みたかのぼ -mitakanova-
三鷹市下連雀4-6-7
mitakanova@gmail.com

その他お問い合わせ みらっとカフェ ほしや(理学療法士)
TEL 080-3158-8673
この講座は多摩地域市民活動公募助成事業です。
主催・特定非営利活動法人、地域認知症サポートブリッジ

★が、みたかのぼの場所です。南沼交差点を一本西へ入り、北へ約100m行くとある「自慢のカフェ」です(自転車の駐輪は敷地内可)。

プロジェクト参加者の感想

失語症の方の気持ちを改めて知れた良い機会でした。

外国に放り込まれたような不安な気持ちは想像するだけで苦しいなと改めて気付かされました。それでもどんなに重い症状でも心があるので、失語症だからとか病気でみるのではなく、どんな人にもそれまでの物語があって一人一人ちがうので、その人らしさを理解しようと思う気持ちを忘れず、その人を知りたいと思うことを諦めないでこれからも現場で向き合っていこうと思いました。

特に対等に接するという先生の言葉が響いて、自分はできていなかったかもと関わり方を見直す良いきっかけになりました。

認知症の人が安心して生活できる地域社会の実現を目指して

本 NPO は、広く一般市民を対象として、主に地域ケア活動にかかわる人々に対して、認知症ケアに関連する研修、コンサルテーション、地域ネットワーク作りなどの活動を行うことにより、認知症の人が安心して生活できる地域社会の構築を目指し、それらを通じて、広く地域における認知症周辺問題の解決と QOL の向上に資することを目的として設立されました。

特定非営利活動法人地域認知症サポートブリッジ

代表理事：木之下 徹

設立年月日：2006 年 6 月

主な活動地域：東京都三鷹市

主な活動内容：研修事業／医農福連携事業／コミュニティカフェ事業

主な協力団体（敬称略）

- ・三鷹駅周辺地域包括支援センター
- ・三鷹市西部地域包括支援センター
- ・みたかのば
- ・のぞみメモリークリニック

